

諏訪神社上社神長官守矢家文書目録作成について

* 正 木 美 香

仮目録作成と寄託契約

平成五年度、神奈川県藤沢市在住の民俗芸能史研究者・飯田市美術博物館客員研究員武井正弘氏の指導により、諏訪神社上社神長官守矢家文書（以下守矢文書と記す）仮目録作成及び粗整理を行った。

武井氏指導のもと、博物館協議会委員・文化財審議委員・諏訪研究会会員等、沢山の皆さんのご協力を得て作業は進められた。

作業手順は、文書のコピーを三部とり、一般閲覧用・保存用・目録カード用とした。

目録カードは、右上に、箱から取り出した順番で、一番から番号を付ける。以下、文書名・文書から読み取れる年月日・名前・寸法・形態・数量を記入して、コピーを添付したものを二通作り、一通は目録カード原本用に、もう一通は確認用にした。

一通りのコピーとりと、目録カード作りの終了後、文書原本・確認用目録カード・コピー（副本）の三つを照合し、確

認作業をした。ここで落ちがないか確認し、目録カードがない場合は、原本を確認し、それでもない場合は、新たに目録カードを作った。

三点が揃ったものは、目録カードの番号にあわせ、ラベルに番号を記入し、副本に貼り付けていく。文書原本は、封筒にしまい、封筒に番号付けをし、作業を終了した。

その後、目録カードから、仮目録冊子を作り、それをもとに平成六年八月十一日、守矢家当主守矢早苗氏と茅野市は寄託契約を結んだ。

本目録の作成

守矢文書目録作成は長年の懸案となっており、仮目録作成及び粗整理の終了した時点から、仮目録の確認作業を行った。

仮目録においては、形態・年月日等の概念が、多種多様に及んでいること、文書の内容にはほとんど触れない目録であること等、目録カードの補足がまず必要であると判断し、見直しをする作業を行った。

茅野市宮川茅野五味正人家文書目録（その一）

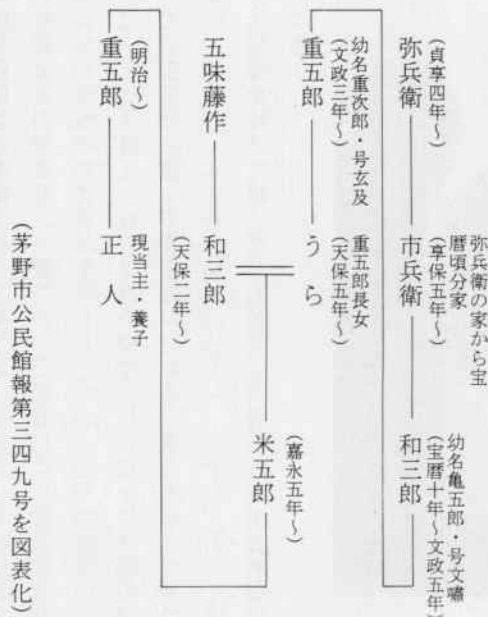
* 細田 貴助
** 正木 美香

宮川茅野に、明治天皇御巡幸御小休所の旧跡がある。明治天皇が、明治十三年の巡幸の際、六月二十三日に一時間ほど休憩に立ち寄った五味家の邸宅である。その屋敷が、このたび、取り壊されることになり、平成八年五月十七日、明治天皇御巡幸小休所関連資料は寄託、その他古文書・古書資料類は寄贈資料として、当館で保存活用に供するべく、収蔵することになった。

後、米五郎、重五郎を経て、現在に到るのだが、業であった製糸関係の近代資料のほか、澄口証文等の近世資料も多数集めた。また、全てを当紀要に掲載することができないため、前半八十五点のみをここに記す。

現五味家ご当主は七代目である正人氏で、現在東京に住んでおられ、正人氏より資料の寄託・寄贈をうけた。

さて、茅野市公民館報第三四九号によると、五味家は下のような系図になる。初代当主は、弥兵衛と言う家から宝暦ころ分家した市兵衛である。二代目の和四郎は寺子屋を開いていた。号を文嘯と称した俳人でもあった。著作に「農家俚語」があるほか、天龍道人とも交流があった。四代目と四郎の時、明治天皇のご巡幸にあたり、酒造製糸業を営み、名家として顔役であった五味家を御小休所として使うことになった。そのため、上諏訪の某家老の門を移築したという。その





補足・見直し・照合作業

文書番号は、仮目録でつけた番号の欠番等を勘案し、順送りしてつけ、また、「原秩序尊重の原則」に倣ってどういった固まりで文書があったかわかるよう整理番号をつけた。整理番号は、博物館に持ち込まれてからの配列順序で番号をつけ、その順序と固まりを尊重した。一つ目の数字に何番目の

固まり（文書）か、二つ目にその固まりの内の何番目の固まり（文書）か、三つ目には二つ目に記した固まりの何番目の文書かを記し、ハイホンでつないだ。また、一つと数えられた文書の中に、二つ以上の文書が混ざっている場合（違う文書を継いである、違う帳を合わせて一冊にしてある、同じ紙に別件の記入）には、○付の数字を付けた。

文書の形態は、堅帳・横帳・横半帳・堅紙・切紙・折紙・継紙に大別し、概念の統一を図った。

表題・年月日・差出人・受取人等は、なるべく原文を尊重する形で補足した。しかし、長野県宝に指定されているもので原文の標題と異なる文書名を持つものは、県宝での呼び名が有名であることもあり、県宝での呼び名を（ ）で示した。なお、表題・年月日・差出人・受取人等の記載のないものでも、推測できるものは（ ）で付けた。

目録カードの補足と共に、文書原本を中性紙の封筒に入れ、その封筒に文書番号・整理番号・文書名・形態・年代・差出人・受取人・主内容を記入。また、コピーとの照合も併せて行った。

その目録カードをもとに、データベース「桐」に入力し、その上で目的の文書を検索しやすくするため、幾つかの項目に分け、その中で編年順に構成した目録冊子の作成に入った。当初、四十五項目に分類したが、細かく分けすぎて、却って分かりにくくなったので、左記二十二項目に分類した。

- | | |
|--------------|---------------|
| 一、下文(二十二) | 二、上社由緒(百) |
| 三、神事祭礼(三十二) | 四、御頭(百一) |
| 五、御柱(九十三) | 六、日記書留(八十九) |
| 七、武田氏書状(三十六) | 八、武将書状(五十四) |
| 九、叙位(二十六) | 一〇、知行(百四十八) |
| 一一、神領(五十二) | 一二、伊那郡(八十六) |
| 一三、社家社人(八十二) | 一四、建築(四十九) |
| 一五、祈神社參(百八) | 一六、太々神樂(四十三) |
| 一七、神人神鉾(四十五) | 一八、神道葬祭(二百十六) |
| 一九、村々神社(四十二) | 二〇、文化(百十三) |
| 二一、守矢家(百五十八) | 二二、一般(三十七) |
- () 内には文書数を示した。なお、○付きの文書も一点と数えたので、実際の文書数より多くなっている。

目録発刊と今後の予定

目録の完成後、一般閲覧の為の準備に手間取ったが、平成七年十二月一日に目録冊子の販売及び守矢文書の複写資料の一般公開を開始する事ができた。

一般公開開始の少し前に長野県立歴史館の秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」に三点、諏訪市博物館の「諏訪大社上社の建築彫刻下図展」に二点貸出し、展示が行なわれた。九年度には長野市立博物館の長野市制百周年記念事業第

三九回特別展「古代・中世人の祈り―北信濃と善光寺信仰―」に一点貸出が決まっている。

また、公開が始まってから平成八年度まで、一般研究者の閲覧が約五十名、閲覧資料数は百点を超えた。このことから、信濃或は諏訪の歴史を知る上でなくてはならないと言われる守矢文書は、正に県民の宝であることを痛感している。

これら文書を後世に伝えるため、また、一般に供するため、史料のマイクロフィルム化と写真撮影を考えている。

マイクロフィルム化については、実施計画事業として今年度、一二〇〇点の資料の撮影を終え、来年度さらに撮影を進めていく予定である。今後は、いかに史料を保存し、また、公開していくかが課題になるといえよう。

* 茅野市八ヶ岳総合博物館兼茅野市神長官守矢史料館 学芸員

神長官守矢史料館受託什器類目録

* 正木美香

平成三年三月に茅野市神長官守矢史料館が開館し、それ以来今日（平成九年三月）までに、守矢家より一、六〇〇余点の古文書の他、守矢早苗氏及び両角庸子氏より什器・古文書類を受託した。また、藤森照信氏より資料の寄贈を受けたので、以下に記す。

法量は、基本として 長さ×幅×高さ（cm）について表記した。

守矢早苗氏寄託什器

番号	品名	数量	寸法	備考
1	サナギ鈴	1	φ4×17.8×0.6離	
2	鉄鈴	1	2.7×3.5×19.5	
3	鹿食免 内訳	2	1 諏訪神社	版木
			2 諏方宮神長官	版木
4	十角塗分け重箱	1	φ24.3×38	漆工芸品 箱入り

5 大祝即位化粧道具		1 式		
内訳				
1	化粧道具箱	1	24.5×31×39.7	箱入り 漆工芸品
2	短冊型箱(大)	1	幅 11.4×4×1.5	中仕切付 漆工芸品
3	白粉箱(小)	1	幅 21.2×4.1×3	漆工芸品
4	白粉箱(大)	1	幅 5.9×5.9×3.2	漆工芸品
5	歯黒箱(小)	1	幅 5.2×5.2×4.8	漆工芸品
6	歯黒箱(大)	1	幅 6.2×6.2×3.2	漆工芸品
		1	幅 5.4×5.4×5	漆工芸品
		1	幅 6×2	漆工芸品
		1	幅 5.6×0.8	漆工芸品
		1	幅 5.9×4	漆工芸品
		1	幅 6.5×3	漆工芸品
		1	幅 5.6×1.2	漆工芸品
		1	幅 6.4×5.7	漆工芸品

7	齒黒道具	1	φ7 × 8.5 × 4	漆工芸品
8	細長丸箱	1	■13.5 × 7 × 1	漆工芸品
9	水差し	1	■13 × 6.5 × 3.6	
10	金椀	1	■8 × 10 × 9	
11	櫛	4	φ7.4 × 5.4	
12	鼈甲へラ	1	5.0 × 10.5 × 0.5	漆工芸品
13	象牙へラ	3	5.0 × 10.5 × 0.5	漆工芸品
14	筆(小)	1	2.2 × 7.4 × 0.1	鼈甲
15	筆(大)	1	13.6 × 0.8 × 0.1	鼈甲
16	刷毛	3	12.3 × 0.8 × 0.1	象牙
17	蓋付丸鉢	1	12.0 × 2.3 × 0.1	象牙
18	つぼだら	1	20.2 × 1.2 × 0.1	象牙
19	手鏡(小)	1	0.8 × 11	漆工芸品
		1	φ4.5 × 15.0	漆工芸品
		3	17.7 × 2 × 2.5	漆工芸品
		1	17.5 × 1.5 × 0.5	漆工芸品
		1	17.6 × 1.7 × 0.4	漆工芸品
		1	■15.5 × 2.5	漆工芸品
		1	■15.6 × 8.0	漆工芸品
		1	■25 × 34 × 15	漆工芸品
		1	φ15.6 × 8	漆工芸品
		1	32 × 21.2 × 0.5	漆工芸品

6	源氏物語屏風	6曲1双		
7	三十六歌仙屏風	6曲1双		
8	軸			
9	内訳			
20	手鏡(大)	1	35.5 × 24 × 0.5	漆工芸品
21	手鏡箱(小)	1	■26.7 × 38.5 × 3	漆工芸品
22	手鏡(大)	1	■25.6 × 37.2 × 2.5	漆工芸品
23	鏡立て	1	■34.5 × 23.5 × 3	漆工芸品
		1	■33.2 × 22.5 × 2.5	漆工芸品
		1	59.5 × 28 × 2	漆工芸品
1	後陽成帝御震筆	1		箱入
2	御奈良帝御震筆 (写)	1		箱入
3	谷文晁墨山水	1		箱入
4	玉蘭女子草花	1		箱入
5	三夕図	3		箱入
6	明陸復塞梅画	1		箱入
7	狩野時信	1		箱入
8	狩野永真	1		箱入
9	筆 極外	1		箱入
10	題添	1		箱入
11	箱入	1		箱入
12	諏方宮長	1		箱入
13	官神朝臣	1		箱入
14	延実謹書	1		箱入

17 掛軸	1	内訳 鶴 松 三本松	16 釘隠	15 文机	14 肘掛	13 火台	12 衝立	11 座卓	10 銅鏡	9 剥製
			3	1	1	2	1	3	1	1
			52 × 85 × 34	7 × 37 × 30	27 × 27 × 49	140 × 148 121.5 × 131	91 × 91 × 30	瑞花双鳳八稜鏡 φ9 菊花双鳥鏡 φ14 古鏡(手鏡) 21 × 11 × 2	静岡県下 産十三斑 真羽山鳥 箱入り	
守矢篁山			網張り	肘掛部は	朱塗	(格子桁)	一部欠け	足の角欠	真中欠 つまみ欠	

29 屏風	28 横額	27 色紙	26 色紙	25 横額	24 横額	23 勅使間の部屋掛	22 色紙	21 来諫写真	20 連板	19 連板	18 短冊と短冊掛							
6曲1双 165 × 60(4冊)	1 46 × 118	1 62 × 35	1 41 × 33	1	1 47 × 168	1	1	2	1	1	1組							
篁山書画	激画	墨絵、真入り	墨絵、静思画、額入り	り	書、額入り	入江侍従	古翠館	林虎雄書	頼真書	額入り	房子書	額入り	皇太子、皇太后、	真幸書、イチイ	桐	松雲書、	真幸書	七言詩書

守矢早苗氏寄託古文書

3	2	1	尊
(絵図)	(書画)	(上柱古図)	文書名
文化八年未年二月			年月日
	八峯山人守屋羣山他一名		差出人・作成者 受取人
			形態
唐銅鳥居再建に付		天正の古図	内容
	明治以後	天正の古図写し	備考
424	423	422	整理番号
1			

34	33	32	31	30
桐箱入り衣装 内訳	タイガイ	置床	文机	屏風
1 式 58 × 78.8 × 21.1	1 φ 29.6 × 51	1 24.6 × 35 × 12	1 43.3 × 91 × 29.7	6 曲 1 双 165 × 60 (1曲)
1 八ツ藤差袴 2 冬袍 (藍色) 3 袴 (水色) 4 齊服單 (白) 5 袍 (紫)				正三位藤 原光有書 筆山画 裏面に墨 繪有
桐箱	窓2カ所	足3本		

39	38	37	36	35
写真 内訳	藝目鎗矢	筆と筆立て 内訳	太筆	盃
1 アルバム 2 写真 (バラ)	2 94. 93	1 筆 2 筆立て	1 113	3
4 1式		1 組		
81		12		
		1 φ 6.9 × 16		
		足3本		大中小各 1
				6 差袴 (白) 7 袍 (深緑) 8 帽子 9 手拭

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	尊
紫船繪圖面	(見取図)	(側面図)	(絵図)	(石灯笼図)	(絵図)	(絵図)	御花表拾分一圖	(絵図)	大繪圖寫	下諏訪大明神秋宮絵図	十分一之圖	文 書 名
									(文化八年二月)	寛政四壬子年	(文化八年)	年 月 日
							村岡直四郎呉□			大祝 社僧惣代 社家惣代	受 取	差 出 人 ・ 作 成 者
												形 態
		設計図	犬射馬場か	正面図	秋宮絵図			犬射馬場か			唐銅鳥居十分の一の図	内 容
							花押					備 考
423	423	423	423	423	423	423	423	423	423	423	423	整 理 番 号
13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	

1	番号							
軸	文書名	年月日	守矢篁山画	差出人・作成者 受取人	形態	内容	備考	整理番号

藤森照信氏寄贈資料

1	番号							
諏訪上宮本社再建 十分之一函写	文書名	年月日		差出人・作成者 受取人	形態	内容	袋入り	備考
								整理番号

両角庸子氏寄託資料

18	17	16
信濃國洲羽大明神 神長守矢氏系譜	大繪圖寫	(青塚周辺図)
明治三十一年 戊戌清秋 上浣	四月廿日	
篁山守矢實久		
424	423	423
	15	14

*茅野市八ヶ岳総合博物館兼茅野市神長官守矢史料館学芸員

以下に記す目録は、当館で募集したボランティアの方々により、十一月十日から三月十六日まで八日間に渡り整理した文書を、細田貴助、正木美香が目録化したものである。なお、ボランティアの方々には、以下にお名前を記すことで、お礼に代えさせていただきたい。(順不同・敬称略)

宮坂加代子・伊藤功・北原富美江・伊藤益郎・金子信也
五味良文・山岸富登・伊藤金次郎・五味みゆき・岡角幸子
河田角二郎・柳平啓明・天野秀人・土橋正子・飯田美智子
室岡正男

凡例

一、本目録は、平成八年五月十七日に茅野市が寄贈を受けた「宮川茅野五味正人家文書」の目録である。

一、文書名は、表題の記載を尊重した。記載のないものは編者が付し、()で示した。

一、文書の欠落等、文字の判読のできないものについては□で記した。

一、年月日は、文書の記載の通りである。なお、記載はないものの、年号が確定的なものは編者が()で加えた。

一、差出人・作成者・受取人についても文書の記載を尊重したが、人数の多いものは「他□」で示し、肩書の長いものは多少省略し、また、表記はないものの確定的なものには編者が()で加えた。

一、整理番号は、寄託を受けた際の順序と固まりを尊重し、

一段目に何番目の固まり(文書)か、二段目にその固まりの内の何番目の固まり(文書)か、三段目には二段目に記した固まりの何番目の文書を記した。なお、○付の数字については、一つと数えられた文書の中に、二つ以上の文書が混ざっている場合(違う文書を継いである、違う帳を合わせて一冊にしてある、同じ紙に別件の記入)、右から、若しくは上から順番を付けて記した。よってこの番号は、実質的な数量とは違う。



整理作業を行うボランティアの方々

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
(メモ)	送状	貨物受取證	(メモ)	貨物受取證	貨物受取證	常總鐵道第一種貨物通知書	記	奉差上一札之事	濟口証文	繭買入勘定帳	(大般若勸化帳)	文書名
		昭和十年 九月七日		昭和十年 九月八日	昭和十年 九月八日	昭和十年 九月七日	昭和十年 九月八日	天保九戊戌年	文政十一年 二月	大正十年 吉日	文政九丙戌年 秋彼岸	年月日
		名取敏 富屋		名取 富屋	名取敏 富屋	五味重五郎	五味	茅野村年寄 名主	深川大嶋町藤兵衛 御評定所	五味重五郎	茅野村宗湖庵	差出人・作成者 受取人
								切紙	堅帳		堅帳	形態
繭・生糸取引関係メモか	繭・生糸取引関係メモか	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	千葉郡検見川村漁師との 論争の濟口証文		大般若経転読募集	内容
									村の蔵に預かった年貢米の 証文		表紙欠	備考
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	整理番号
4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	1	
8	7	6	5	4	3	2	1	2	1	-		

24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	尊
通信用箋	大般若勅化帳	八束穂稲種	中新田と入相村々草場論 裁許之覚	(梅)	(繭取引書)	(漢詩)	郵便はがき	郵便はがき	郵便はがき	郵便はがき	郵便はがき	文書名
昭和十五年八月七日 ～八月二十七日	(文政九丙戌年 彼岸秋)		正徳六丙申 六月二十六日			元旦	昭和十年 九月八日	昭和十年 九月八日	昭和十年 九月八日	昭和十年 九月七日	昭和十年 九月七日	年月日
富屋商店	(宗湖庵)	諏方神社守屋要人		(雀窓)		御嶽山房 古畑純一	富屋 升屋	富屋 升屋	富屋 升屋	富屋 升屋	富屋 へ内	差出人・作成者 受取人
	堅帳		継紙									形態
繭・生糸取引関係	大般若経転読募集	煤払い用稲を納める事	正徳の草場争論写し	梅の絵		七言絶句	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	内容
	1の前文			21の包紙		朱印・四枚						備考
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	整理番号
10	9	8	7	7	6	5	4	4	4	4	4	
			1	0			9-⑤	9-④	9-③	9-②	9-①	

37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25
記	記	キ	記	記	記	記	キ	記	出納日誌	三季講無尽金渡帳	(勘定記録)	□購買入勘定一号帳
大正四年 十二月二十八日	大正四年 十二月	(大正四年) 十二月	(大正四年) 十月三十一日	大正四年 十二月		大正四年 十二月	(大正)四年 十二月	大正四年 十二月	大正四年 三月八日	明治三十六年 三月	九月二十一日、 十二月三十一日	夏 大正十二年
下平日進堂薬房 五味重五郎	分醬油店 五味米五郎	合支店 △富屋	藤原屋 富屋	五味今朝一 五味重五郎	ほまれや 富屋	△麻屋商店 五味重五郎	さつきや 五味重五郎	五味源吉 五味重五郎	△富屋	五味米五郎		△富屋
										堅帳	堅帳	
請求書	請求書	請求書	請求書	請求書	請求書	請求書	請求書	請求書		無尽	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係
									九十一頁に請求書 十一枚		表紙欠	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	12	11
9	8	7	6	5	4	3	2	1				

49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	尊
荷渡傳票	記	受取證	繭取引規程	精算書	請求書	入帳通知書	日報	(象山書)	(書)	記	記	文 書 名
(昭和十年) 六月十八日	昭和十年 六月二十一日	昭和十年 六月二十日			昭和十年 六月十二日	昭和十年 六月七日	昭和十年 六月九日	文久三壬午年 四月		大正四年 十二月	大正四年 十二月二十八日	年 月 日
成東繭市場 トミヤ	竹材製籠商田邊新 富屋商店	成東運送合資会社 △富屋	茂原繭市場	茂原繭市場 富屋商店	茂原合同運送株式会社 △富屋	利繭市場 天	茂原繭市場	(佐久間象山)	又玄齋	刈福嶋屋商店 五味重五郎	下平日進堂藥房 五味重五郎	差出人・作成者 受取人
												形
繭・生糸取引關係	繭・生糸取引關係	繭・生糸取引關係	繭・生糸取引關係	繭・生糸取引關係	繭・生糸取引關係	繭・生糸取引關係	繭・生糸取引關係		玄遠	請求書	請求書	内 容
								木版				備 考
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	整理番号
17	17	17	17	17	17	17	17	16	15	14	14	
5	4	3	2-④	2-③	2-②	2-①	1			11	10	

62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50
電信送達紙	電信送達紙	電信送達紙	電信送達紙	電信送達紙	電信送達紙	電信送達紙	荷物受取證	荷物受取證	荷物受取證	記	約束手形	荷渡傳票
昭和十年 六月二十日	昭和十年 六月二十日	昭和十年 六月十九日	昭和十年 六月十九日	昭和十年 六月十一日	昭和十年 六月十七日	昭和十年 六月十三日	昭和十年 六月十三日	昭和十年 六月二十日	昭和十年 六月十六日	昭和十年 六月二十三日	昭和十年 六月二十日	(昭和十年) 六月十二日
ナトリサトシ	ナトリサトシ	ナトリサトシ	ナトリサトシ	ナトリサトシ	ナトリサトシ	ナトリサトシ	瀧澤商店	大黒屋洋品店 △富屋	大黒屋洋品店 △富屋	下館館 上	瀧澤辰五(郎) 成東繭市場	成東繭市場 トミヤ
繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6

74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	番号
(白紙)	(看費帳)	(メモ)	(電信送達紙)	(電信送達紙)	(電信送達紙)	(手習い手本)	六月十七日計算表	六月十七日計算表	六月十八日計算表	昭和十一年六月十一日分集計表	昭和十年六月十日分集計表	文 書 名
			(昭和) 六・八・十三	(昭和) 六・八・九	(昭和) 六・八・十三		六月十七日	六月十七日	六月十八日	昭和十年 六月十一日	昭和十年 六月十日	年 月 日
				大林	オウ					△ 茂原繭市場	△ 茂原繭市場	差出人・作成者 受取人
												形態
	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	内 容
		富屋商店算紙										備 考
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	整理番号
19	19	19	19	19	19	18	17	17	17	17	17	
6	5	4	3	2	1		23	22	21	20	19	

85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75
出納日誌	(書簡)	記	昭和十年九月十九日取引書	昭和十年九月十九日取引書	昭和十年九月十九日取引書	九月二十一日御買付合計表	荷組帳	金銭出納帳	(備忘録)	(メモ)
大正五年八月九日↘	(昭和十年)九月二十四日	(昭和)十年九月三十日	昭和十年九月十九日	昭和十年九月十九日	昭和十年九月十九日	(昭和十年)九月二十一日	昭和六年三月二十日↘	明治四十年九月二十八日↘ 明治四十二年八月十三日	明治十四年二月十三日↘ 明治三十三年三月十三日	
△富屋(五味美津江)	草野名取	南諏繭絲市場 △富屋	△南諏繭絲市場	金澤繭絲市場 トミ屋	金澤繭絲市場 トミ屋	△泉野村繭市場利用組合	△富屋商店	五味米五郎	富家(五味和三郎)	
							堅瓊			
	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係	繭・生糸取引関係
										富屋商店罫紙
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
24	23	23	23	23	23	23	22	21	20	19
	6	5	4	3	2	1				7

* 前茅野市神長官守矢史料館長
 ** 茅野市八ヶ岳総合博物館学芸員